

# ロシア・東欧学会

The Japanese Association for Russian and East European Studies

# Newsletter No. 15

## 2007 年度大会は 10 月 20-21 日 大阪大学で開催されます

すでに Newsletter No. 14 でお知らせしたように、今年度のロシア・東欧学会研究大会は、2007 年 10 月 20 日（土）・21 日（日）の両日、大阪大学・豊中キャンパスで開催されることになっています。今大会は、昨年を引き続き Japanese Society for Slavic and East European Studies (JSSEES) との合同大会となります。プログラムは以下のとおりです。参加申し込みなど（10 月 10 日締切）につきましては、別紙あるいは学会ホームページ（<http://wwwsoc.nii.ac.jp/roto/>）をご覧ください。

### 2007 年度ロシア・東欧学会/JSSEES 合同研究大会プログラム

10 月 20 日（土）

10:00-10:10 開会の辞：袴田 茂樹・代表理事

#### 共通論題「拡大するロシアと世界」

10:10-11:30 第 1 報告：ロシアの 2008 年問題と世界

座長：木村 汎（拓殖大学）

報告：袴田 茂樹（青山学院大学）

討論：下斗米 伸夫（法政大学）

11:30-12:50 第 2 報告：環黒海地域の変動

座長：羽場 久美子（青山学院大学）

報告：松里 公孝（北海道大学）

討論：湯浅 剛（防衛研究所）

12:50-14:10 昼休み

12:55-14:10 ロシア・東欧学会理事会

14:10-15:30 第 3 報告：拡大するロシアと東アジア

座長：宮本 勝浩（関西大学）

報告：吉田 進（環日本海経済研究所）

討論：田畑 伸一郎（北海道大学）

15:30-16:30 総括討論

座長：羽場 久美子（青山学院大学）

16:30-17:30 ロシア・東欧学会総会

18:00-20:00 懇親会（カフェテリア宙）

\* \* \*

10 月 21 日（日）自由論題

#### ◆第 1 セッション（政治・外交・安全保障）

座長：伊東 孝之（早稲田大学）

9:30-10:10 スターリン体制確立期の国営・集団農場におけるルイセンコ主義：史料『ヤロヴイザーツィア』誌の分析から

報告：斎藤 宏文（東京工業大学・院）

討論：木村 英亮（二松学舎大学）

10:20-11:00 現代チェコ政治における共産党の位置付け

報告：坪井 宏平（東北大学・院）

討論：林 忠行（北海道大学）

11:10-11:50 「クロアチアの春」とクロアチア民族主義

報告：磯村 尚弘（名古屋大学・院）

討論：石田 信一（跡見学園女子大学）

#### ◆第 2 セッション（経済）

座長：溝端 佐登史（京都大学）

9:30-10:10 中ロ国境貿易：黒龍江省の対ロシア国境貿易を中心に

報告：封 安全（北海道大学・院）

討論：大津 定美（大阪産業大学）

10:20-11:00 ポーランドに見る国内、EU内、EU東  
部ボーダー諸国間経済格差の実態と EU  
クロスボーダリージョンの安定化

報告：田口 雅弘（岡山大学）

討論：仙石 学（西南学院大学）

11:10-11:50 現代ロシアの工業部門の回復動向

報告：藤原 克美（大阪外国語大学）

討論：上垣 彰（西南学院大学）

#### ◆第3セッション（社会・文化・文学・宗教）

座長：川端 香男里（川村学園女子大学）

9:30-10:10 レーニン製鉄所と十字架：社会主義ポ  
ーランドにおける政治と宗教

報告：加藤 久子（日本学術振興会 PD）

討論：家本 博一（名古屋学院大学）

10:20-11:00 K. ヴォイティワをめぐる伝統的自然  
法論と体制倫理論

報告：平手 賢治（名古屋学院大学・非）

討論：岩田 昌征（東京国際大学）

11:10-11:50 ウクライナにおける「母語」の考察

報告：木 裕子（大阪大学・院）

討論：塩川 伸明（東京大学）

#### ◆第4セッション（JSSEES）

座長：松原 広志（龍谷大学）

9:30-10:10 倫理的世界絵像について

報告：アレクセイ・パールキン

（大阪大学客員研究員）

討論：木村 崇（京都大学）

10:20-11:00 初級レベルの学習者が陥りやすい誤り  
とその対処法：格について

報告：三浦由香里（神戸外国語大学・非）

討論：堤 正典（神奈川大学）

11:50-14:00 昼休み

12:10-13:00 JSSEES 理事会

13:10-13:50 JSSEES 総会

14:00-14:15 特別プログラム  
「関西某タレント特別出演」

14:30-17:00

#### ◆シンポジウム「ロシアという表現・言論空間の軌 跡と現在（Кому на Руси говорить хорошо?）」

司会：下斗米 伸夫（法政大学）

パネリスト：（映画）前田恵（大阪大学）

（演劇）永田靖（大阪大学）

（ネット文化）ガリーナ・ニキポー

レツ滝川（東京外国語大学）

（言論・報道）A. トルストグーゾフ

（広島大学）

コメンテーター：ユーリア・ミハイロバ（広島市  
立大学）

17:00-17:10 閉会の辞：松原 広志（JSSEES 理事長）

## 2007 年度第 1 回理事会開催

2007 年 7 月 1 日（日）、青山学院大学にて 2007 年  
度第 1 回理事会が開催されました。報告・審議事項は  
以下の通りです。

### 1. 報告事項

(1) 2007 年度研究大会について、企画委員長の宮本  
勝浩会員および開催校担当のヨコタ村上孝之会員か  
ら準備状況が報告されました。

(2) 会誌編集委員長の溝端佐登史会員より、次号  
（第 36 号）の原稿受付、提出締め切りについて説明  
がありました [4 頁のお知らせ参照]。

(3) 事務局長の羽場久美子会員より、以下の事務局  
報告がありました。

i) 2006 年度決算報告について収入は安定し、支出  
が例年より少なかった旨報告がありました。特に会誌  
について、当初 2006 年度内に 2 冊刊行するための予  
算 200 万円を計上していましたが、2 冊目の刊行が年  
度を越えたため 100 万円以上予算案より減額となり、  
繰越金が増えたことが説明されました [3 頁の表 1 を  
参照]。増加傾向にある繰越金について、複数の理事  
や事務局長より、今後は研究会や大学院生への会費減  
免措置など、会員に還元できる方途を検討したいとの  
提案がなされました。

[4 頁へ続く]

表1 2006年度決算および2007年度予算

	2006年度予算	2006年度決算	2007年度予算
収入の部			
前年度繰越金	3,545,867	3,545,867	4,155,571
会費（注1）	3,040,000	3,203,000	2,955,000
個人	2,890,000	3,133,000	2,915,000
正会員	2,650,000	2,841,000	2,680,000
院生会員	240,000	292,000	235,000
団体	150,000	70,000	60,000
維持会費	20,000	0	20,000
寄付	50,000	52,870	50,000
利息	30	273	200
雑収入	20,000	21,500	20,000
収入小計	3,130,030	3,277,643	3,125,200
総計	6,675,897	6,823,510	7,280,771
支出の部			
大会費	300,000	299,940	300,000
年報発行費（注2）	2,100,000	1,065,158	1,100,000
年報印刷費	2,000,000	1,005,579	1,000,000
ニューズレター印刷費	100,000	59,579	100,000
事業費（注3）	40,000	35,000	40,000
学術会議費用	40,000	0	0
事務局費（事務）（注4）	300,000	361,640	400,000
事務用品・コピー代	80,000	8,009	50,000
会議費補助（注5）	620,000	523,082	700,000
選挙管理費	100,000	117,986	0
会員名簿印刷代	50,000	0	50,000
通信・発送費	160,000	125,064	200,000
利息・手数料料金（注6）	40,000	32,060	40,000
予備費（注7）	200,000	100,000	500,000
支出小計	4,030,000	2,667,939	3,380,000
繰越金	2,645,897	4,155,571	3,900,771
総計	6,675,897	6,823,510	7,280,771

（注1）2007年度予算の会費額は、2006年度の納入状況より、会員総数412名のうち、正会員（335名）80%、院生会員（67名）70%、法人会員（3団体）66%、名誉会員（7名）、で試算。

（注2）年報発行費は、2005年度末と2006年度初めに続けて2冊を発行することで年度調整が完了したため、今年度からの予算は1年分。

（注3）事業費はJCRES（日本ロシア・東欧研究連絡協議会）および地域研究学会連絡協議会の負担金。

（注4）近年、200人台から400～500人体制への移行に伴い、事務体制が中規模学会並み。現在、信頼できる学会管理センターへの移管を検討中。

（注5）会議費補助は、新理事会で地方の理事が増加したため、予算を拡大した。

（注6）「利息・手数料」は、事務局費に含まれる銀行手数料を郵便振替払込料金と合わせたもの。

（注7）予備費は大会開催補助の追加や研究会など企画に当てる。

表2 新入会員

氏名	所属	専攻	推薦者	
清水 聡	法政大学, 明治大学	ドイツ政治学	下斗米伸夫	羽場久美子
封 安全	北海道大学大学院文学研究科 (院生)	ロシアの対外経済・貿易関係	岩下 明裕	田畑伸一郎
奥 彩子	東京大学大学院総合文化研究科 (院生)	東欧文学	柴 宜弘	沼野 充義
池田 嘉郎	新潟国際情報大学情報文化学部	近現代ロシア政治史	小澤 治子	横手 慎二
副島豊次郎	近畿大学法学部	国際政治, 国際政治史 (日本外交史)	袴田 茂樹	羽場久美子
机 文明	法政大学大学院 (院生)	日ソ外交史, ソ連政治史	下斗米伸夫	羽場久美子
関 啓子	一橋大学大学院社会学研究科	教育思想史, 教育社会学, 比較教育学	袴田 茂樹	羽場久美子
出川 展恒	NHK	中央アジア, 中東	田中 哲二	袴田 茂樹
本村 和子	元アジア開発銀行タジキスタン駐在代表	タジキスタン	田中 哲二	袴田 茂樹
浅見 栄次	国際協力機構 (JICA)	中央アジア, コーカサス	田中 哲二	袴田 茂樹
都留 信也	NPO アースウォッチジャパン	中央アジア環境	田中 哲二	袴田 茂樹
【法人会員】ナウカ・ジャパン合同会社			袴田 茂樹	羽場久美子

(注) 推薦者2名の氏名は五十音順。

[2頁からの続き]

ii) 2006年度会費納入状況(会費納入率:正会員76%, 院生会員約82%, 法人会員66%), 入会申請者(11名および1法人)[上記表2を参照]・退会会員(5名)について報告がありました。また、3年連続の会費未納者が11名おり、引き続き支払いをお願いするものの、12月までに振込みがなければ規定に従い除籍とすることとなる旨説明がありました。

(4) 袴田茂樹・代表理事および羽場事務局長より、日本学術会議・地域委員会の活動にロシア・東欧学会やJSSEESなども参加する方針であることが説明されました。

(5) 羽場事務局長より、学会誌の大学寄贈および理事会での配布について説明がありました。会誌バックナンバーは既に50を超える大学に送付され、好評を得ている旨報告されました。なお、残部については関係理事に送付する予定です。

(6) 理事の松里公孝会員より、国際中・東欧研究会(ICCEES)の活動状況について報告があり、2010年の第8回ストックホルム世界大会に向けて日本人研究者の積極的な参加を呼びかけるとともに、2015年世界大会の東京での開催の可能性について問題提起がなされました。

## 2. 審議事項

(1) 宮本・企画委員長より、2007年度大会自由論題の報告希望者の募集結果について報告があり、自由論題分科会プログラムの座長・討論者(候補)が確定されました。

(2) 2006年度決算および2006年度予算の理事会案が審議され、承認されました。なお、事務局長より学会規模が拡大する中で、現在、信頼できる学会管理センターへの学会事務委託について検討中であることが報告されました。

(3) 新入会員、退会会員について承認されました。

### 学会誌『ロシア・東欧研究』 編集委員会からのお知らせ： 投稿受付締め切りは9月15日です

『ロシア・東欧研究』第36号の投稿希望の受付締め切りは、9月15日、原稿提出締め切りは11月末日となっております。2007年度大会の自由論題報告を予定されている会員の皆さんはもちろん、それ以外の会員の方々のご投稿の希望を心待ちにしております。また、共通論題報告の方々には、第36号特集論文の執筆をお願い申し上げます。ご投稿の希望受付および

お問い合わせは、

〒606-8501 京都市左京区吉田本町  
京都大学経済研究所 溝端佐登史研究室気付  
ロシア・東欧学会誌編集委員会  
Tel: 075-753-7144  
Fax: 075-753-7148  
E-mail: mizobata@kier.kyoto-u.ac.jp

までお願い申し上げます。 (溝端)

### 《事務局より》

◆昨年に続き、ロシア・東欧学会と JSSEES の合同大会が、今年は大阪大学で開かれます。多彩な報告者がそろい、政治・経済・文化・言語までの、総合的・学際的な大会となり、大会実行委員会と会員の皆様に、心から感謝申し上げます。

前号より湯浅さんが、すばらしいニューズレターを作っております。

新理事会で若手や地方、女性、そしてバルトや中央アジアの理事の方々が多数入ってきてくださり、その点でも学際的かつ多彩な学会に発展しつつあると、感謝しております。

この間、50 を越える大学の図書館に、学会誌『ロシア・東欧研究』を寄贈させていただき、多くの図書館より、お礼のご連絡も受けております。410 名をこえる、更なる学会の発展に、会員の皆様のお力添えをいただきたく、どうぞよろしく願いいたします。

ありがとうございました。(羽場)

◆ようやく猛暑の夏が過ぎようとしています。私はここしばらく、暑い東京（日本）からいかに抜け出すかということばかり考えていたような気がします。そのため留守がちとなり、編集作業では関係の会員の皆様と十分な連絡が取れなかったことお詫び申し上げます。(湯浅)

### ロシア・東欧学会ニューズレター 第15号(2007年9月発行)

#### 《発行：学会事務局》

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25

青山学院大学国際政治経済学部

羽場久美子研究室気付

E-mail: jarees\_office@yahoo.co.jp

URL: <http://www.soc.nii.ac.jp/roto/index.html>

ニューズレター編集担当：湯浅 剛

E-mail: ty@nids.go.jp